

# むろらん 市議会だより

発行責任者／室蘭市議会議長  
編集・発行／広報特別委員会

わがまち21世紀の宝



室蘭高等技術専門学院

昭和21年12月に、北海道廳立建築工補導所として室蘭天沢国民学校内に開設して以来、68年の歴史を有し多くの技術者を育成してきた高等技術専門学院が、機械加工、金属加工を訓練科目とする2年制に移行することが検討されています。

主なあゆみをあげますと昭和23年には、北海道立室蘭公共職業補導所と改称し、機械科が新設され、33年には、溶接科の新設、職業訓練所に改称されました。昭和36年に構造物鉄工科、39年に配管科が新設されました。昭和44年に北海道立室蘭専修職業訓練校と改め、46年塗装科の新設、49年には第1回技能祭が開催されています。昭和63年に現在の北海道立室蘭高等技術専門学院と改称され、多くの技術者を世に送り出してきました。

平成29年には総定員60名の2科制でスタートする予定です。

## 平成26年第1回室蘭市議会定例会日程

- 2月 26日 本 会 議（開会、市政方針及び教育行政方針説明、議案説明ほか）
- 3月 4日 本 会 議（追加議案の説明、代表質問）
- 3月 5日 本 会 議（代表質問）
- 3月10日 本 会 議（質疑・一般質問）  
委 員 会（議会運営）
- 3月11日 本 会 議（質疑・一般質問、各委員会への議案付託ほか）
- 3月12日 常任委員会（総務、経済建設）
- 3月13日 常任委員会（民生）
- 3月14日 特別委員会（一般会計予算審査）
- 3月17日 特別委員会（一般会計予算審査）
- 3月18日 特別委員会（一般会計予算審査）
- 3月19日 特別委員会（特別会計予算審査）
- 3月20日 特別委員会（特別会計予算審査）
- 3月24日 委 員 会（議会運営）
- 3月25日 委 員 会（議会運営）
- 本 会 議（各種議案の議決ほか、閉会）

## 第1回定例会開催

平成26年第1回室蘭市議会定例会が、左記日程のとおり、28日間の会期で開催されました。

今回の市議会定例会は、市長提出議案として平成26年度の一般会計予算を初め、特別会計及び企業会計の各種予算を中心に条例改正等を含む議案38件及び議員提出議案の意見書案10件について、審議・議決しました。

# 市民と議会との懇談会

【市民と議会との懇談会とは】

- 平成24年度から実施
- 市議会議員みずからが地域に出向き
- 市民の方から幅広く意見を聴き
- 市民意見を反映した政策提言を図る

これらを目的に総務常任委員会、民生常任委員会、経済建設常任委員会がそれぞれ所管する事項からテーマを決定し、市内の関係団体を対象に開催するものです。

1月、2月に実施されました当懇談会について報告いたします。

## 総務常任委員会

岡田委員長、常磐井副委員長、立野、南川、早川、児玉、細川各委員

懇談対象団体…

室蘭市私立幼稚園協会

テーマ…私立幼稚園運営の現状と課題について

日時…2月4日

午後4時～5時56分

会場…室蘭市役所

※懇談対象団体概要…室蘭市内の私立幼稚園11園の園長で構成される団体

総務常任委員会の市民と議会との懇談会は、室蘭市私立幼稚園協会の皆様と「私立幼

稚園運営の現状と課題について」をテーマに開催しました。懇談会では子ども・子育て支援新制度、今後の幼稚園運営について意見が多くありました。

子ども・子育て支援新制度については、委員からの「新制度施行にむけた幼稚園協会としての取り組み、現状、課題、要望は」という質問に対し御説明いただき、「幼児教育の軸は幼稚園が担いその責務をはたしていく」「各幼稚園がどの種類の施設で特色ある保育（教育）をしていくかを思索している」「幼稚園教員の給与体系を改めてほしい」「子育てを楽しむ母を応援してほしい」「室蘭でも新制度の説明会をしてほしい」など数多くの意見が出されました。今後の幼稚園運営については「今後さまざまな想定を行うが、資金が必要になる」「保

育機能を追加するとなると保育所の分野に参入することになるが情報が無い」「全てが認定こども園には移行しないと思う」などの意見が出され、その他については「幼稚園に対する補助制度の更なる充実をしてほしい」「子ども・子育て会議が動き始めたことから実態調査の結果などを公表してほしい」などの意見も出されました。



総務常任委員会での懇談会風景

今回の懇談会では参加された方からの説明により私立幼稚園の運営の厳しさなど、現状を踏まえた意見交換ができ、今後もこのような意見交換、

情報交換をしていきたいとの声もいただき、有意義な場になったと思われ、懇談会の必要性を実感いたしました。

## 民生常任委員会

小田中委員長、早坂副委員長、高橋、田村、柏木、徳中、山川各委員

懇談対象団体…

公益社団法人室蘭市医師会

テーマ…地域の医療供給体制について

日時…2月3日

午後6時半～8時10分

会場…室蘭市保健センター

※懇談対象団体概要…室蘭市と登別市の勤務医、開業医など260名の医師により構成される団体

民生常任委員会は、「地域の医療供給体制（主に5疾病・5事業）について」をテーマに室蘭市医師会の皆様と懇談会を開催しました。

初めに医療体制の現状と課題について説明を受けました。主な内容として、救急医療については、市内各病院の努力で夜間休日も受け入れ体制を整えているが、経営面では赤字状態である。がん医療については、予防と早期発見が重要であり、今後はピロリ菌検査などリスク検診も必要。循環器医療については、救急体制を維持するための高コスト、医師不足などが課題との説明を受けました。

各委員からは、急病センター廃止後の初期救急に対する補助金のあり方、診療科による医師充足率の片寄りやハイリスク分娩などの不安、急性期後の体制（後方病院等）の現状。在宅診療について、医療と介護の地域包括ケアをどう構築していくかが課題と考える等の意見が出されました。

医師会からは、室蘭市全体としては急性期病床（※1）が多く、亜急性期病床（※2）が少ないのが課題であり、今後は亜急性期病床を充実させる必要がある。在宅医療については、医師会としても委員会を立ち上げ検討しているが、

数々の問題があるのが現状である。地域の実態を各委員と共通の理解のもと、地域医療を守ることを一致団結していかなければならないとの意見も出されました。

本市は、高齢化、人口減少が進んでいますが、安心して住み続けるためには、地域の医療体制を守ることが重要であり、そのためにも室蘭市医師会との意見交換は、大変重要であると感じた懇談会でありました。



民生常任委員会での懇談会風景

## 経済建設常任委員会

古澤委員長、金濱副委員長、我妻、水江、羽立、砂田、山中各委員

懇談対象団体：

一般社団法人室蘭観光協会  
テーマ：周辺市町との  
広域観光における本市  
の位置づけ及び観光振  
興について

日時：1月27日

午後2時～3時半

会場：室蘭市役所

※懇談対象団体概要：室蘭市及び周辺地域における観光資源の開発と紹介、宣伝、観光施設の整備及び観光客の誘致促進を図り、観光旅行者の利便の増進等に寄与することを目的とする団体

経済建設常任委員会は、「周辺市町との広域観光における本市の位置づけ及び観光振興について」をテーマに観光協会の役員の皆様と懇談会を開催いたしました。

開催に当たり、この懇談会

の目的と趣旨、市議会の役割と仕組み、また主なテーマについて説明をさせていただき、平成24年度北海道観光入込客数調査報告書等の資料説明を行い、懇談会に入りました。

最初に、観光協会側からの意見として「本市の観光ポイントの整備」「観光客が集まる場所で地元ならではの食を提供する場所がない」「道の駅みたらの売店強化」「フィルムコミッションのような組織・応援体制を一緒になって取り組んでほしい」「体育館・プール等が一体となり迎える体制がつくれれば、合宿タウン室蘭のアピールとなり、合宿実績や地域の活性化に結びつくのでは」などの意見が出されました。

これを受けて委員のほうからは、「フィルムコミッションの話は非常に興味がある」「みたらでの物産については、生産者による直接販売がイベントではなく通年となれば、室蘭の市場制度との兼ね合いが課題」「修学旅行生を海で誘致できないか」「観光協会、商業者、ボランティア団体、市民が通常日々できることを常に

考えられるコーディネーターが必要」など、多くの意見が出されました。

懇談会の中では市と議会、関係者と積極的な意見交換の必要性について共通認識も図られ、今後の議会論議に有意義な懇談会でありました。



経済建設常任委員会での懇談会風景

### 【用語解説】

※1 急性期病床：症状が重く、手厚い看護が必要な患者向けの病床

※2 亜急性期病床：急性期の後、在宅復帰支援のため、効率的で密度の高い医療を一定期間受けられる病床

# 代表質問

市政創造 我妻 静夫

各会派の代表質問及び答弁から19項目を取り上げ、要旨を紹介します。

バス事業者と協議する。また、待合所のあり方についても検討していく。

## 予算編成について

【問】基金残高と将来に備えた基金のあり方の考えは。

【答】25年度末で約90億円。公施設再編や耐震化策の財源、公債費負担等に対応できるように財源確保に努める。

## イオン室蘭移転開業は

【問】事業計画の具体内容は。

【答】施設計画は面積5万9千500㎡。津波避難ビルとして駐車場及び店舗収容数3千人程度の一時避難場所を確保し、卸売市場の活用拡大、新規雇用400名程度など。

## コミュニティ交通について

【問】市長マニファストである重要な政策の進捗状況は。

【答】大前提は基幹であるバス路線の一定程度の確保であり、重要な方策と位置づけ、

## 津波警報サイレン設置は

【問】17基ものサイレン設置より、防災教育の対応策が必要では。また、設備維持管理、設備更新の経費は。

【答】災害時安全な行動ができるよう防災教育を実施。維持管理費は、定期点検や電波使用料等で年間約300万円。15年程度の耐用年数経過後の設備更新は検討が必要。

## 手話条例制定に向けて

【問】本市の基本姿勢は。

【答】市民の障がいへの理解推進と手話通訳者増や手話への理解普及などに努める。

市民ネットむらじろ 水江 一弘

## 子育て支援策について

【問】親の経済格差を子供に

連鎖させない子育て支援策が必要と考えるが、見解を伺う。

【答】子供の将来が、生まれ育った環境によって左右されてはならない。生活困窮者自立支援法案に示されている学習支援事業等については、早い時期に方向性を見出す。

## 水素を活用したまちづくり

【問】来年、水素自動車が市販される。水素社会に向けた取り組みを本市の環境産業のリーダーングプロジェクトと位置づけ、具体的なロードマップを描いて取り組むべき。



水素社会に向けた取り組みは（平成21年の水素普及啓発事業で走行した水素燃料エンジンバス）

【答】市内企業には水素の製造、貯蔵の技術がある。事業化に向けて公共施設での活用や水素ステーションの建設と利活用の促進、積雪寒冷地で

の研究などを国、道、大学などと進める。具体的なロードマップを描きながら、北の水素社会のトップランナーは室蘭市であると認識されるよう、取り組んでいく。

## 建設業の技術者不足について

【問】建設業の技術者不足が問題になっている。公共事業は本市の経済対策にとって必要であり、影響を及ぼす恐れがあるが、対策は。

【答】市内の建設技術者の安定的確保を図るためには、特に工事発注が少なくなる春先の対応が必要で、今後も積極的な早期発注に努めていく。

公明党室蘭市議会 砂田 尚子

## 地方分権時代における人材育成について

### 人材育成について

【問】見直し予定の人材育成基本方針の中で、ファシリテーター研修を行う考えは。

【答】職員がファシリテーター役となつて、さまざまな経験を積んでいくことは非常に有効な手段であり、職員研修基

本方針に盛り込む方向で検討する。

## 災害に強い

### まちづくりについて

【問】災害対策基本法改正に伴い、本市の地域防災計画の見直し内容について問う。

【答】平成26年度中に地域防災計画において、被害の最小化と迅速な回復を図る減災の考え方の明示や、避難行動要支援者名簿の作成と活用による適切な避難誘導、さらには一定期間滞在する避難所の環境整備など、必要項目について修正を図っていく。

【問】災害弱者の名簿作成が本年4月から義務付けられたが、本市の取り組みは。

【答】要支援者の個人台帳の作成とともに、行政、要支援者、避難支援者、民生・児童委員、自治会等がその情報を共有・管理し、定期的な更新が義務付けられたことから、地域防災計画の中で要支援者名簿の作成とその情報共有等を規定する。また、個人情報保護については守秘義務の徹底と情報の漏えい防止のため、必要な措置を講じていく。

経済・雇用対策について

【問】平成23年に策定した地域雇用創造計画の3年間の成果及び今後の展開は。

【答】事業者や求職者向けの講習、ジョブフェアなどを実施し、平成26年1月末現在で269名が就職した。計画は25年度で終了するが、今後も国の制度を活用できるよう準備するとともに、26年度は求職者のカウンセリング事業や、出産等で仕事を離れた女性を対象に復職や起業を支援する事業を実施するなど、引き続き雇用対策に取り組んでいく。



地域雇用創造計画の成果と展開は

政策の検討項目について

【問】平成26年度予算編成が終了したが、現時点における検討中の主な施策と検討項目の今後の進め方は。

【答】政策目標30項目のうち、公設地方卸売市場のあり方、6市町の防災体制の連携強化、火葬場建設の広域化の3事業が検討中である。公設地方卸売市場は経営ビジョン策定に向けた調査委託の実施。防災体制の連携強化は災害時における「コミュニケーション」放送の連携の協議や、備蓄計画策定等の連携。火葬場建設の広域化は整備手法や運営手法で関係市町と協議を行っていく。整備時期については少しでも早く整備できないか西いぐり広域連合で調査を行うと聞いており、関係市町と協議する。

長井 常磐井 茂樹

第2次安倍政権下の経済・社会情勢に対する認識について

【問】集团的自衛権の行使を憲法解釈変更だけで可能とす

る発言に対する見解と憲法の持つ規範性についての見識は。

【答】集团的自衛権の行使に係る問題は、国政で議論されるべき問題と考えている。日本国憲法は、国民主権・基本的人権の尊重・平和主義の3原則に基づくものであり、日本の平和と繁栄の礎となってきた。

市政方針における

政策展開のあり方について

【問】汚染土壌の処理には莫大な経費を要する。埋立企業に一定の負担を求めるべきと考えるが、見解を問う。

【答】土壌汚染対策法で区域指定を受け措置を行った場合、費用は原因者に請求できるとされているが、法施行以前のものへの適用の可能性については、北海道とも協議したい。

教育行政方針における

政策展開のあり方について

【問】過去問題やチャレンジテストを事前に解かせることを求めたりする、道教委の競争心を鼓舞する通知についての市教委の対応はいかに。

【答】チャレンジテストや過去

の調査問題の活用は、次の指導に生かすための取り組みの一つとしては有効と考える。

元風ネット 金濱 元一

子育て応援プラン2014について

【問】人口定住やまちなか再生を図るためには、空き家解体後も住宅用地の課税特例を継続すべきでは。

【答】国の空き家対策の推進に係る特別措置法案成立や税制改正による具体策検討に向けて引き続き国に要望していく。

客船寄港及びおもてなしの取り組みについて

【問】客船寄港時の取り組みで、最大限の経済効果を生むための今後の体制づくりは。

【答】庁内横断的に連携し、市民団体の意欲に応える体制づくり、市民が活動しやすい環境づくりを強化する。



客船寄港時のおもてなしへの体制は

災害発生時の初期行動について

【問】災害時の避難道確保のため、東町・中島両地区を結ぶ新たな道路を整備すべき。

【答】室蘭圏全体の交通量の減少を見込むと必要性は低いが、大型商業施設開店後の交通動向を見て必要に応じ国や道に要望する。

小中学校第3期適正配置

計画について

【問】生徒増が見込まれる桜蘭中学校の教室や体育館の整備は。

【答】予備室である特別教室、多目的室を普通教室として使用し、体育館の補完施設として多目的ホールを活用する。

# 質疑・一般質問

公明党室蘭市議会 細川 昭広

## 高齢者施策について

【問】高齢者が住み慣れた地域で生活できるようにするために、介護、医療、生活支援、介護予防の充実を図る地域包括ケアシステムの取り組みは。

【答】医療、福祉等の関係機関や高齢者団体、公募の方などで構成する計画策定協議会を設置し、本年4月から協議を行い、あわせて高齢者や介護事業者へ調査を実施し、議会報告、パブリックコメントを経て、平成26年度末に計画を完成させる。

## 障がい者施策について

【問】今後の市営住宅における障がい者用車椅子専用住宅の準備について伺う。

【答】現在建てかえ事業を実施している東町大和団地に、

議員7人の質疑・一般質問及び答弁から12項目を取り上げ、要旨を紹介いたします。

車椅子に対応するユニバーサルデザインの住宅の整備などを検討する。



建て替え前の東町大和団地

元風ネット 南川 達彦

## まちづくり活動支援補助金について

【問】補助終了事業のうち、まちづくりの可能性や公共性の認められる事業に対する支援継続の考えは。

【答】事業の評価や市民要望も踏まえた上で、庁内連携を図りながら検討していく。

## 本市の歴史的遺産について

【問】市として戦跡の認識と保存の考えは。

【答】戦争の悲惨さを直接現代に伝える貴重な歴史遺産と認識しており、歴史的意義が広く認められその保存継承が進むよう努める。

【問】本市に残る歴史的建築物に対する市の考えは。

【答】歴史的な価値は認識しており、将来的な市の文化財指定なども視野に入れながら、文化財審議会において議論していく。



道内最古の木造建築の駅舎として国の登録有形文化財に登録されている旧室蘭駅舎

## 市政創造

山川 明

## 今後の医療提供体制について

【問】人口減少が進む中で、今後3急性期病院が健全な経営のもとで、どのように連携強化と機能分化を進めながら、医療提供体制を果たしていくのか見解を伺う。

【答】西胆振の急性期医療はもとより、慢性期、在宅医療にも大きな影響が出るものと考えている。今後、地域完結型医療提供体制の構築に向けて、関係機関と連携、協力の強化を図っていく。

## 室蘭グリーンエネルギー

### タウン構想(※)について

【問】西胆振の他市町と広域的な連携を進める必要があると考えるが。

【答】西いぶり定住自立圏形成推進協議会などでそれぞれの取り組みの情報を共有するとともに、連携方策の可能性について検討していく。

## 市政創造

早川 昇三

## 防災協定について

【問】災害が長期化した場合、避難者の衛生的な生活環境を確保するため、室蘭浴場組合等の浴場施設と災害協定を締結する考えは。

【答】地域の社会資源である浴場施設を支援施設として提供していただくことは大変有益と考え、浴場組合の御理解と御協力をいただき、協定締結に向け協議を進める考え。



災害時の支援施設としての役割が期待される銭湯

## 市民のスポーツ活動について

【問】市民の健康増進のため

に閉校後の学校体育館を耐震改修し、スポーツ施設として存続する考えは。

【答】 存続活用には耐震以外にも改修費が必要なほか、利用者や地域バランスなど総合的判断が必要であるため、存続活用する体育館については、公共施設跡地計画に合わせたい。

日共産党市議 田村 農夫成

### 八丁平土壌汚染問題の抜本的解決策について

【問】 八丁平全域の土壌調査と健康診断は希望どおり実施すべきではないか。

【答】 土壌調査は埋立区域内の民有地と最も影響を受けやすい南公園等に隣接する民有地を行う。健康影響調査は、最も健康被害を受けやすい人を中心に150名の検査で精度は高いと考える。

【問】 土壌汚染対策はリスクゼロを目指すべきである。汚染土壌入れかえの考えは。

【答】 盛り土や舗装でも直接摂取の危険性は防げる。健康

への影響が生じないようにすることが可能と考えており、道との協議により決定する。



立ち入り禁止となっている八丁平南公園

【問】 東中跡地の鉦滓も基準値を超えるフッ素が検出されている。市内各所の埋立地の調査が必要では。

【答】 東中跡地の鉦滓は建設資材として適法に使用されている。土壌汚染対策法に即した対応が必要と考える。

市民ネットむらoran 高橋 直美

### 防災力の向上について

【問】 市民の防災力向上のためには、災害発生時の状況を想定した図上訓練(DIG※2)と避難所運営を想定した

カードゲーム(HUG※3)を実施すべき。また、地域のリーダー役となる防災リーダーの人材育成に力を入れるべき。

【答】 専門家を講師とした講習会等の開催を通じ、防災リーダーの育成やDIGやHUGなど、より実践的な避難訓練を住民避難訓練と並行して実施できるよう、連合町会議会防災部とも連携しながら体制整備に努めたい。

【問】 女性の視点を防災対策に取り入れるべき。

【答】 防災会議等の場で女性の意見を取り入れながら、避難所の環境整備や備蓄品の整備を検討していきたい。

市民ネットむらoran 立野 浩靖

### 市立室蘭総合病院の経営のあり方について

【問】 平成26年度診療報酬改定に当たって、現時点での看護配置7対1の考えと今後の対応についての考えは。

【答】 現時点では看護配置7対1は難しいが、今後、市立病院の進むべく方向性と必要設

備、人員等についても早急に精査し対応していく。

### みなと小学校開校にむけて取り組みについて

【問】 開校までの1年間で放課後児童対策などの課題に向けた取り組みの考えは。

【答】 スクールバスや放課後児童対策、学校施設の活用など、さまざまな課題について統合推進協議会を中心に協議し、保護者や地域への情報提供や要望収集などきめ細かい対応をするよう努める。



開校まで1年を切ったみなと小学校の外観イメージ(設計時)

### 【用語解説】

※1 室蘭グリーンエネルギータウン構想：地域の未利用・再生可能エネルギー等を利用して低炭素都市の形成を目的としたもので、環境産業の振興・地域経済の活性化、まちづくりを推進することを目的とした構想。

※2 DIG：1997年に考案された簡易型災害図上演習で災害図上演習の手法。地図上にビニルシートを敷き、その上から与えられた被害状況、そこから推測される状況を書き込み、対処方法を10名程度のグループで討論しながら導きだすもの。

※3 HUG：避難者の年齢、性別、国籍やそれぞれの抱える事情が書かれたカードを、避難所に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所に起こるさまざまな出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲーム。



らいとあっぷ

## 議会改革 ～市民と議会との懇談会～

先般、議会運営委員会において、議会運営の見直しを行いました。その1つとして「議会の政策立案能力の向上に関する事項」の中の、「市民と議会との懇談会」の見直しについてご紹介します。

室蘭市議会ではこれまで議会として市長へ提言を行う取り決めは特に設けていませんでしたが、今回の議会運営の見直しにおいて「市民と議会との懇談会」で出された意見の中で特に迅速な対応が必要な事項については、平成26年度から市長へ提言を行うことができるものとしたところです。

提言を行った場合、議長は市長に書面による回答を求め、市長からの回答受理後、懇談会を行った団体の代表者へ提言書とその回答の内容について書面で報告を行うこととしました。

「市民に開かれた議会」として、今後は更に市民の皆様の声を市政に届けてまいります。

### 市議会ホームページをぜひご覧ください！

室蘭市役所ホームページ ⇒ 「市議会ホームページ」  
「議会中継」

※市議会中継は市議会開会中のみライブで、その他の期間は録画放送でごらんいただけます。



### 平成26年第2回室蘭市議会定例会 会期（予定）

6月9日（月）～6月24日（火）

※会期の決定及び日程の詳細につきましては、6月5日（木）開催予定の議会運営委員会終了後、市議会ホームページ（議会日程）に掲載いたします。

## 編集後記

平成26年第1回定例会では、各会派の代表質問及び7名の議員による一般質問が行われ、青山市長任期最後の本格予算となる平成26年度予算案を中心に、活発な論議が行われました。

また、予算審査特別委員会では、これまでの最長となる午後11時33分まで審議が行われましたが、日程や審議のあり方について課題の見えた定例会でもありました。

行政のチェックは議員が行いますが、議員のチェックができるのは市民の皆様です。今後も、より良い政策提言が行えるよう議員の資質向上に努めるとともに、「市議会だより」を通じ、市民の皆様へ議会活動を発信してまいります。

（高橋）

### 平成26年第1回定例会議決結果 会期：平成26年2月26日（水）～3月25日（火）（28日間）

番号	件名	議決結果
議案第1号	平成26年度室蘭市一般会計予算	原案可決
議案第2号	平成26年度室蘭市国民健康保険特別会計予算	〃
議案第3号	平成26年度室蘭市介護保険特別会計予算	〃
議案第4号	平成26年度室蘭市後期高齢者医療特別会計予算	〃
議案第5号	平成26年度室蘭市水道事業会計予算	〃
議案第6号	平成26年度室蘭市工業用水道事業会計予算	〃
議案第7号	平成26年度室蘭市病院事業会計予算	〃
議案第8号	平成26年度室蘭市公設地方卸売市場事業会計予算	〃
議案第9号	平成26年度室蘭市港湾整備事業会計予算	〃
議案第10号	平成26年度室蘭市下水道事業会計予算	〃
議案第11号	室蘭市職員の退職手当に関する条例中一部改正の件	〃
議案第12号	室蘭市消防長の任命資格を定める条例の全部改正の件	〃
議案第13号	室蘭市立小中学校設置条例中一部改正の件	〃
議案第14号	室蘭市社会教育委員の定数及び任期に関する条例中一部改正の件	〃
議案第15号	室蘭市体育施設条例中一部改正の件	〃
議案第16号	室蘭市青少年問題協議会条例中一部改正の件	〃
議案第17号	室蘭市障害者活動支援施設条例中一部改正の件	〃
議案第18号	室蘭市健康づくり基金条例制定の件	〃
議案第19号	市立室蘭総合病院条例中一部改正の件	〃
議案第20号	室蘭市消防団員の報酬及び費用弁償に関する条例中一部改正の件	〃
議案第21号	室蘭市火災予防条例中一部改正の件	〃
議案第22号	室蘭市手数料条例中一部改正の件	〃
議案第23号	室蘭市公設地方卸売市場業務条例中一部改正の件	〃
議案第24号	室蘭市道路占用料条例中一部改正の件	〃
議案第25号	室蘭市港湾施設管理条例等の一部改正の件	〃
議案第26号	室蘭市水道事業条例中一部改正の件	〃
議案第27号	室蘭市下水道事業条例中一部改正の件	〃
議案第28号	室蘭市工業用水道事業条例中一部改正の件	〃
議案第29号	財産処分の件(旧東中学校跡地)	〃
議案第30号	平成25年度室蘭市一般会計補正予算(第5号)	〃
議案第31号	平成25年度室蘭市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	〃
議案第32号	平成25年度室蘭市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	〃
議案第33号	平成25年度室蘭市病院事業会計補正予算(第2号)	〃
議案第34号	平成25年度室蘭市下水道事業会計補正予算(第2号)	〃
議案第35号	室蘭市国民健康保険条例中一部改正の件	〃
議案第36号	平成25年度室蘭市一般会計補正予算(第6号)	〃
議案第37号	室蘭市病院事業の設置等に関する条例中一部改正の件	〃
議案第38号	債権放棄の件(室蘭市土地開発公社関係)	〃
意見書案第1号	「手話言語法(仮称)」の早期制定を求める意見書	〃
意見書案第2号	地方自治体の臨時・非常勤職員の待遇改善と雇用安定のための法改正に関する意見書	〃
意見書案第3号	過労死防止基本法の制定を求める意見書	〃
意見書案第4号	災害時多目的船の導入を求める意見書	〃
意見書案第5号	食の安全・安心の確立を求める意見書	〃
意見書案第6号	微小粒子状物質(PM2.5)に係る総合的な対策の推進を求める意見書	〃
意見書案第7号	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた環境整備及び地域における取り組みへの支援を求める意見書	〃
意見書案第8号	特定秘密の保護に関する法律の廃止を求める意見書	否 決
意見書案第9号	集団的自衛権に関する憲法解釈の変更に反対する意見書	否 決
意見書案第10号	放射能汚染水対策など原子力政策の転換と被災者支援の抜本的強化を求める意見書	否 決